

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社ディスコ 桑畑工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市郷原町4010-1

(3) 業種

半導体製造装置製造業

2 計画の期間

2010年度を基準年度とし、2011年度から2020年度までの10年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))					
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂								
非エネルギー 起源CO ₂								
メタン								
一酸化二窒素								
その他 温室効果ガス								
温室効果ガス 実排出量総計								
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：延床面積

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成22年度	平成32年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
エネルギー 起源CO ₂	16,178	15,563 3.8%	18,693	20,347	19,859	20,834	21,780
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費原 単位(原油換算kl)	0.051	0.049 3.8%	0.043 16.5%	0.047 8.5%	0.045 11.5%	0.049 3.6%	0.042 17.0%
実績に対する 自己評価	新棟建設などの影響でエネルギー使用量は増加した。建屋増築(平成26, 30年度)で延床面積が増加した影響もあり、原単位では改善している。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システムのパネル清掃による発電効率向上 ・冷暖房温度の適正管理 ・休憩時間の消灯の徹底
2	水使用量の削減		ダイシングソー用の純水リサイクル装置及びグライнда用総合純水リサイクル装置を工場にて使用することで、水使用量を削減
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	構造的経費削減活動	経費5%削減	<p>全社的な活動として、業務改善を通じた経費削減活動を展開している。</p> <p>※直接、温室効果ガスの削減に繋がらないものも有りますが、間接的なものを含めると基本的には電気や燃料、水、廃棄物などの削減に寄与するものが殆どです。</p> <p>※この活動は環境マネジメントシステム（ISO14001）における活動目標にしております。</p>
2	切削廃水の削減	切削廃水の産廃処理90%削減	<p>金属加工で使用する水溶性切削油を含んだ廃水はこれまで全量を産廃処分（焼却処分）していたが、膜を使って廃水中の油分を分離濃縮することで、産廃処分量を大幅に削減できるようになりました。</p>

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。